



Koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077

https://koryo-high-school.com / メール koryo@chibagakuen.ac.jp

大事にして欲しい自分の心と体

正しい知識で生きることの尊さ、命の大切さを、次世代に伝えていく人へ



親子で聞く講演会

第39回私学振興大会



11月2日(木)、第39回私学振興大会が八戸プラザホテルアーバンホールを会場にして行われた。コロナ禍で大会自体の中止や簡素化が続いたが、久しぶりにコロナ禍前の内容に戻しての開催となった。今回、本校が事務局校となり、佐々木PTA会長を中心に多くの保護者の方々にご協力いただき、無事終了することができた。また、本大会後の懇親会では、太鼓部のコーチを務める大柳さん率いる創作太鼓「響」の皆さんの迫力ある演奏とえんぶりでも、集まった方々をもてなした。県内各地の私立高等学校の経常費の維持・拡充を要請し、より一層の私立教育の振興と保護者負担の軽減のために開催されるこの大会、今年は約270人が参加した。来年は五所川原市で行われる。



「思春期の性行動とリスク」について触れることで、蓮尾先生は、「女性に関する話を中心とするが、むしろ男子にこそ理解してほしい」「精神的ダメージを受けるのは女性だから、男子にこそ性の知識が必要である」と述べた。また、「性」という字は、心(りっしんべん)・十生命(いのち)と書くことから、決していやらしいものではなく、とても尊いものであると話された。そして、「『性』について正しい知識を深めることが、望まない妊娠を防ぐことにも繋がる」とした。多くの命をとりあげてきた産婦人科医としての想いの詰まった講演となった。講演後、生徒を代表して山家昌悟さん(3年・平塚市立土沢中学校出身)が「いろいろな情報をすぐに手に入れられる世の中ですが、間違った情報に惑わされず、正しい情報を選択できるようにしたいです。男性こそ性に関する知識を高めて、自分と相手の心と体を大事にできるようになりたいです」と感想を述べた。

11月6日(月)、あおもり女性ヘルスケア研究所所長蓮尾豊氏による親子で聞く講演会「大事にして欲しい自分の心と体」が開催された。講演内容は、大きく分けて

- 一 SNS、LGBTs
- 一 女性の生理(月経)とは
- 一 妊娠成立の仕組みと避妊
- 一 性感染症を知ろう

の4点であったが、高校生への講演という点で、「思春期の性行動とリスク」について触れることで、蓮尾先生は、「女性に関する話を中心とするが、むしろ男子にこそ理解してほしい」「精神的ダメージを受けるのは女性だから、男子にこそ性の知識が必要である」と述べた。また、「性」という字は、心(りっしんべん)・十生命(いのち)と書くことから、決していやらしいものではなく、とても尊いものであると話された。そして、「『性』について正しい知識を深めることが、望まない妊娠を防ぐことにも繋がる」とした。多くの命をとりあげてきた産婦人科医としての想いの詰まった講演となった。講演後、生徒を代表して山家昌悟さん(3年・平塚市立土沢中学校出身)が「いろいろな情報をすぐに手に入れられる世の中ですが、間違った情報に惑わされず、正しい情報を選択できるようにしたいです。男性こそ性に関する知識を高めて、自分と相手の心と体を大事にできるようになりたいです」と感想を述べた。

避難訓練

10月23日(月)、隣接する千葉幼稚園、寿楽荘と本校とで合同避難訓練を行った。今回は津波を想定し、幼稚園と寿楽荘の要請を受け本校生徒たちが救助に向かう流れを確認した。園児たちの手を引いて本校2階以上に避難するグループと寿楽荘に駆けつけ、車椅子の方々の避難援助、歩行可能な方々のサポートをするグループに分け訓練を実施した。生徒たちは、園児や寿楽荘の方々に優しく声を掛けたり、歩幅を合わせたたりしながら安全に避難していた。自分の役割を再確認した生徒たちは、田向で生活する同地域住民として、災害時に関わらず協力し合う大切さを実感したようだった。



服育講座

10月30日(月)、紳士服のコロナカ様から2名の講師をお招きし、1、2年合同で服育講座を実施した。高校生は、冠婚葬祭といつても制服で済むが社会人はそうもいかない。そこで、TPOを踏まえた服装、就職先、進学先で困らないための服装、第一印象の重要性を学んだ。また、今後着る機会が増えるコートのため、ネクタイの結び方をレクチャーしていただいた。



生徒会役員選挙

11月17日(金)、生徒会役員選挙立会演説会が行われ、立候補者らは、自身の熱い思いを語った。即日投票し、生徒会役員が決定した。任命式は12月1日(金)に行われる。

【新生徒会役員】

- 会長 2年 佐藤 翔聖(第一中学校出身)
- 副会長 2年 山野内日向(第一中学校出身)
- 副会長 1年 柄本 百絵(第三中学校出身)
- 書記 2年 小川 友麻(長者中学校出身)
- 書記 1年 金谷 水樹(第一中学校出身)
- 会計 2年 松倉 滯(第一中学校出身)
- 会計 1年 内澤ひかり(軽米中学校出身)
- 会計 2年 角地山葵羅(階上中学校出身)
- 会計 1年 二部 真斗(第一中学校出身)

新生徒会役員決定



進路ガイダンス

11月16日(木)、さんぼう主催の2年生進路ガイダンスが行われた。大学、専門学校、就職の3分野に分かれ、進路に向けての心構えや対策について講師の先生方から教えていただいた。生徒たちは、後悔しない進路選択をするために、真剣に話を聞いていた。



サッカー新人戦ベスト8



11月10日(金)に開幕した青森県高校サッカー新人大会は、三回戦野辺地西高と対戦。本校は、コーナーキックから佐藤蕾咲さん(1年・南足柄市立足柄台中学校出身)が押し込み1点を決め、その後は一進一退の攻防が続いた。アディショナルタイムで佐々木聖亮さん(2年・千葉市立千城台西中学校出身)のシュートがゴールネットを揺らし同点に追いついたかに見えたが、判定はオフサイド。今大会はベスト8に終わった。

- 《試合結果》
- 【11月10日(金)一回戦】
- 向陵 3-0 東奥学園
 - ①出川 憐(2年・白銀南中学校出身)
 - ②佐藤 蕾咲(1年・南足柄市立足柄台中学校出身)
 - ③出川 憐(2年・白銀南中学校出身)
- 【11月11日(土)二回戦】
- 向陵 3-1 三沢
 - ①田所 陽斗(1年・相模原市立名島中学校出身)
 - ②佐藤 蕾咲(1年・南足柄市立足柄台中学校出身)
 - ③出川 憐(2年・白銀南中学校出身)
- 【11月12日(日)三回戦】
- 向陵 1-2 野辺地西
 - ①佐藤 蕾咲(1年・南足柄市立足柄台中学校出身)

10月26日(木) 表現活動講座

ダンスコース

1年 小田 紗織(江陽中学校出身)
 有名なダンスの先生が来て下さると聞き、少し緊張していましたが、とてもフレンドリーで明るく優しい先生だったので安心してました。ダンスは少し難しかったので振りを覚えるのが大変でしたが、さすが、級友とペアで踊るところがとても楽しかったです。練習中、笑顔になってくれた級友を見て、こちらまでなんだか嬉しくなりました。



2年 中村 昊之輔(下長中学校出身)
 去年に続いて2回目のダンスでした。今年の先生は親子で来て下さいました。体が凄く柔らかくて大きく使っています。午前は、振りを覚える時間で、たくさんさんのパートや移動があり、覚えるのが大変でした。午後は、最後の振りを覚え、その後は通しを繰り返しました。本番では、皆で楽しく格好よく踊ることができました。初めての動き、いろいろな体の動かし方を体験しましたが、どれも楽しかったです。来年もダンスを踊りたいです。



よさこいコース

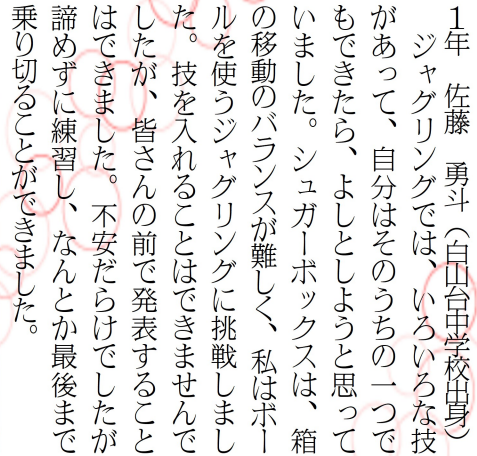
1年 竹居 雪乃(第三中学校出身)
 私は初めてよさこいを体験しました。講師の方から踊りを教えてもらって、講師の自由度が高いことを知りました。そして想像以上に難しい動きもあり、とてもハードだと思いました。また、よさこいにはルールがあり、曲のアレンジは構わないが「よさこい鳴子踊り」のフレーズを必ず入れること、鳴子を持ち前進するのが基本と教わりました。貴重な体験ができましたが、全ての振りを覚えることはできませんでした。



1年 石井 涼太(根城中学校出身)
 私は初めてよさこいをしました。もともとダンスは苦手だったけれど、やってみると意外にも面白いと感じました。自分には曲が長く、振りも多かったですが、何とか覚えきって午後の発表時間までいくことができました。腕を大きく動かしてみたり、足を動かしてみたりととても忙しかったです。映像で見ただよさこい祭りの人たちのようにはいきませんでした。発表のときは、少し遅れを取ったところもありましたが、やりきることができましたし、よさこいの楽しさを知ることができました。

ジャグリングコース

1年 佐藤 勇斗(白田台中学校出身)
 ジャグリングでは、いろいろな技があっても、自分はそのうちのひとつでできたなら、よしとしようと思っていました。シュガーボックスは、箱の移動のバランスが難しく、私はボールを使うジャグリングに挑戦しました。技を入れることはできませんでしたが、皆さんの前で発表することができました。不安だらけでしたが諦めずに練習し、なんとか最後まで乗り切ることができました。



1年 奥寺 陽人(階上中学校出身)
 初めてジャグリングをしてみました。最初は一つの球を左右順番に投げて取るを繰り返してやりました。次に二つの球を左右交互に投げて取りました。その次は、三つの玉を交互に連続で投げる「カスケード」に挑戦しました。順を追って練習していったので、発表では4連続できたので嬉しかったです。

マジックコース

1年 清水 葉澄(白銀中学校出身)
 初めてのマジックコースでした。講師の方の動きを参考に、初めは基本中の基本である輪ゴムを使ったマジックをしました。講師の方の動きが速すぎてタネはわかりませんでした。タネを覚えてもらっても上手くできませんでしたが、ゆっくりと繰り返し練習してできるようになりました。次にやったストローを使ったマジックを何度練習してもできなかったため、家で練習をしたと思います。午後は、スプーン曲げに挑戦しました。思っていたよりも簡単で、目の錯覚を利用してやるものだったので、思ってもみなかったです。練習を繰り返して上手くなりたいです。

3年 加藤 一吹(東中学校出身)
 初めてマジックを間近で見ると、プロのマジシャンは見せ方が上手いということです。大きな動きをして気をそらして隠したものをしたりするミスディレクションという動きが大事で、実際やってみると、動きが大きすぎるときこちないし、隠す動作をするとミスしたりと、簡単に見えて実際にやると難しかったです。原理がわかっても、相手にわからないようにするには、見せる技術が必要だとわかりました。身近にある輪ゴムやコインを使うマジックであれば、小さい子相手ならできると思います。今度いここに試してみたいです。



ドローンコース

3年 中島 唯斗(第一中学校出身)
 最初にドローンについての座学を行い、ドローンの飛行可能区域や許可が必要なスポットを学びました。他にも多種多様なドローンの種類や操作方法を学びました。また、講師の方々が撮影したムービーを見ました。その後、屋内でドローンの操作を練習し、グラウンドで小型のドローンを自由に飛行させました。昼食後、各班に分かれ中型のドローンで撮影・編集をしました。私たちの班は、あまり構想を練らずに撮影を開始してしまっていたので、まとまりのない動画になってしまいました。他の班は、よく考えて撮影していました。将来、ドローンを仕事に活かす機会があるかもしれないので今回実際にドローンに触れる機会を得ることができて良かったです。



2年 田端 楓華(三条中学校出身)
 今回の講座では、さまざまな水彩の技法を覚えていただきました。水を塗った紙に、乾く前に色を落とすように塗っていく「にじみ」、多めの水で溶いた絵の具を紙に垂らす「ドリッピング」、そして水分が残った状態の紙に塩を振ると雪の結晶のような模様が浮かび上がる「塩技法」を体験しました。塩技法は、初めて知った技法で、こういうやり方もあるのかと新しい発見もあり、知ることができたことがとても嬉しかったです。午後は「冬」というお題で、自分で考えたカラーージュを絵にしました。午前中に学んだ技法を使い、自分なりに考えて作品を作り上げてきました。自分のイメージ通りに仕上がっていきなりました。

2年 類家 茉純(第一中学校出身)
 私はあまり得意ではなかったので心配でしたが、講師の方が丁寧に教えてくださったので安心して取り組むことができました。最初に色の色素を描きました。黄と青、赤の3色を使いました。境目をぼかすのが難しかったです。また、各自が描いた「葉」に色をつけました。3色でどこまで表現できるのかと、思いましたが、絵の具が乾く前に次の色を塗ると色が変化して面白かったです。自由作品は上手くできました。

